

第 48 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会（部会③）

開催記録

1 開催概要

- 日 時：令和6年10月2日（水）10：00～11：00
- 場 所：JR 東日本現地会議室
- 出席者：

表 出席者一覧

| | |
|-------------------|--|
| 委員長 | ・ 谷川 章雄氏（早稲田大学名誉教授） |
| 委員 | ・ 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・ 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・ 古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー） |
| オブザーバー | ・ 文化庁文化財第二課 史跡部門 文化財調査官 ・ 港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・ 港区 街づくり支援部 ・ 東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・ JR 東日本コンサルタンツ株式会社 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部 |
| 事務局 東日本旅客鉄道(株) | ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部 |
| サポート | ・ パシフィックコンサルタンツ株式会社 |

■ 当日配布資料

1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料1：第47回委員会（9/4）部会②議事録案
- ・ 資料2：第47回委員会（9/4）部会③議事録案

2) 部会③

- ・ 次第
- ・ 資料1：調査結果について

その他

- ・ 5・6街区の確認調査について

2 議事要旨

2.1 議事録確認

(1) 開会

- 第 48 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局)

(2) 議事録確認

1) 第 47 回委員会 (9/4) 部会②の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2) 第 47 回委員会 (9/4) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2.2 部会③

(1) 開会

- 第 48 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会③を開会する。(事務局)

(2) 調査結果について

- 資料 1 について説明する。(港区)

<説明概要>

- 仮橋脚部の調査進捗状況として、口元管設置部の試掘調査 KP26-1・KP26-3・KP27-4・KA2-4、併せてボーリング調査 No.33~36 を報告する。
- 様相はいずれも浚渫土と見られる灰色粘土層、その下に薩摩台場の土層と考えられる層が複層的に積み重なり、その下に自然堆積層となる黒色粘土が検出された。
- 今回のボーリング調査では、木材や石などの遺構は確認されなかった。
- 試掘調査 KA2-4・KP27-4 で旧ホーム構築時のものと思われる松杭を検出した。
- 前回委員会で報告した KP28-4 と同じ縦断ライン上に杭が続いている状況である。
- KP26-1・KP26-3 については、構造物は確認されず、土層の記録を行い調査を終了している。
- 写真では鉄筋コンクリートの杭に見えるが松杭か。長さはどのくらいか。(小野田委員)
← 木杭で間違いはない。引き抜いておらず全長は不明だが、露出した部分は 70cm 程度である。(港区)
- 長い木杭は 2 本継いで作ることもあり、接合部に鉄の輪を用いることがあるが、短い部

分で鉄の輪が出てくることは想定しにくい。(小野田委員)

- KP27-4・KA2-4 から検出された木杭は、竣工図との照合で旧田町駅ホームの基礎杭であると考えられる。設置時期は詰める必要があるが、間違いないだろう。(委員長)
- KP26-1・KP26-3 は、薩摩台場の層まで到達していないことがわかった。4本のボーリング調査結果より、口元管の範囲は浚渫土と想定する灰色粘土層より上となる。(委員長)
- 浚渫土と想定する灰色粘土層は、品川台場でも同じような堆積物が確認されているようである。(委員長)
- 今回の箇所からは薩摩台場に関連する構造物等は確認されなかったため、4箇所の仮橋脚の打設は可とする判断としたい。(委員長)
 - ← 異議なし。(委員一同)
 - 4箇所の仮橋脚の打設を可とする。(委員長)
- 今回の判断および港区教育委員会による調査、取りまとめに感謝する。引き続きご指導をいただきながら丁寧に進めていきたい。(JR)
- アクセス線は時間が限られていて、調査が夜間となる。無理のない範囲で続けてもらいたい。(委員長)

(3) その他

<部会②・部会③終了後>

- 最後に文化財行政からコメントをもらう。
 - ← 特に意見はない。(文化庁)
 - ← 調査が大変かと思うが引き続きお願いします。(東京都)
 - ← 9月18日から5・6街区の確認調査に着手している。9箇所のトレンチ調査となり、現時点ではトレンチ1と8を除いた7箇所で表土掘削から調査を進めている。現時点の結果は視察時に現場で報告する。(港区)

(4) 閉会

- 次回委員会は11月6日(水)10時00分から、会場はJR東日本現地会議室を予定する。本日はこれで閉会とする。(事務局)

3 議事録

3.1 議事録確認

(1) 開会

- (事務局) 第48回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。
- ・ 挨拶
 - ・ 資料確認
 - ・ オンラインの案内
 - ・ 次第説明

(2) 議事録確認

- (事務局) 2つの議事録について修正等の指摘はあるか。修正等があれば委員会終了までに連絡をいただきたい。
- (事務局) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

3.2 部会③

(1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

(2) 調査結果について

- (港区) 資料1について説明する。仮橋脚部の調査進捗状況として、口元管設置部の試掘調査 KP26-1・KP26-3・KP27-4・KA2-4、併せてボーリング調査 No.33~36 を報告する。資料 1-2 にボーリング調査結果について示す。今までの報告と同様で、様相はいずれも浚渫土と見られる灰色粘土層、その下に薩摩台場の土層と考えられる層が複層的に積み重なり、その下に自然堆積層となる黒色粘土が検出された。No.35・36 については、薩摩台場の盛土と考えられる層から親指の爪ほどの大きさの江戸時代の陶器片や瓦片等が出土した。今回のボーリング調査では、木材や石などの遺構は確認されなかった。資料 1-3-1 および 1-3-2 に、口元管ライナー試掘結果を示す。前回委員会で報告した KP28-4 と同様に KA2-4・KP27-4 で旧ホーム構築時のものと思われる松杭を検出した。KA2-4 では中央に2本、ライナー南側に2本の計4本検出され、KP27-4 でも同じく計4本の松杭が検出されている。概ね南北に1m間隔で KP28-4 と同じ縦断ライン上に杭が続いている状況で、検出された。どちらもライナープレート3

- 段目辺りで松杭の頭が検出された。KP26-1・KP26-3 については、構造物は確認されず、土層の記録を行い調査を終了している。
- (委員長) 質問、意見はあるか。
- (小野田委員) 資料 1-3-1 の KA2-4 の杭は、写真では鉄筋コンクリートの杭に見えるが松杭か。長さはどのくらいか。
- (港区) 木杭で間違いない。引き抜いておらず全長は不明だが、露出した部分は 70cm 程度である。ライナープレート 3 段目の下端部から出ていて、4 段目にも続いている。
- (小野田委員) 長い木杭は 2 本継いで作ることもあり、接合部に鉄の輪を用いることがあるが、短い部分で鉄の輪が出てくることは想定しにくい。
- (港区) おそらく前回委員会で添付した、田町駅の竣工図に掲載されていた木杭であると予想している。
- (委員長) KA2-4・KP27-4 から検出された木杭は、竣工図との照合で旧田町駅ホームの基礎杭と考えられる。設置時期は詰める必要があるが、間違いないだろう。KP26-1・KP26-3 は、薩摩台場の層まで到達していないことがわかった。4 本のボーリング調査結果より、口元管の範囲は浚渫土と想定する灰色粘土層より上となる。浚渫土と想定する灰色粘土層は、品川台場でも同じような堆積物が確認されているようである。いずれにしても、今回の箇所からは薩摩台場に関連する構造物等は確認されなかったため、4 箇所の仮橋脚の打設は可とする判断としたい。旧田町駅ホームの基礎杭の設置時期や薩摩台場の盛土と考えられる層から出土した陶器片や瓦片等の年代については、今後詰める必要がある。
- (委員一同) 異議なし。
- (委員長) 4 箇所の仮橋脚の打設を可とする。
- (JR) 今回の判断および港区教育委員会による調査、取りまとめに感謝する。引き続きご指導をいただきながら丁寧に進めていきたい。
- (委員長) アクセス線は時間が限られていて、調査が夜間となる。無理のない範囲で続けてもらいたい。
- (委員長) 他に何かなければ、次に進める。

(3) その他

- (委員長) その他は何かあるか。
- (委員長) 特になければ部会③を閉会する。

<部会②・部会③終了後>

- (委員長) 最後に文化財行政からコメントをもらう。
- (文化庁) 特に意見はない。
- (東京都) 調査が大変かと思うが引き続きお願いする。

(港区) この場を借りて報告する。9月18日から5・6街区の確認調査に着手している。9箇所のトレンチ調査となり、現時点ではトレンチ1と8を除いた7箇所で表土掘削から調査を進めている。

(4) 閉会

(事務局) 次回の定例委員会は、11月6日(水)10時00分から、会場はJR東日本現地会議室を予定する。本日現地調査に参加される方は、11時に1階のエントランスに集合してもらいたい。お忙しい中貴重なご意見をありがとうございました。閉会とする。

以上